

## 2026年1月 マンスリーレポート

### ワンストップ窓口への相談事例

(在留外国人のC型肝炎治療における医療費助成制度と海外での治療費について)

#### 相談内容：

- 【医療費用について】 対象患者は在留外国人で、国保に加入しており、限度額適用認定取得済、在留カードを所持している。C型肝炎の診断があり、一般的にC型肝炎に関するインターフェロン治療を受ける場合の医療費助成制度をこの患者も利用可能か、また在留外国人ならではの条件があるか確認したい。
- 【インドにおける感染症の治療費について】 インドではC型肝炎の治療が日本よりはるかに安価だという者がいるが、インドの物価水準やクオリティの幅などを検討すると、安価だと言い切ることはできないと認識しているが、間違いはないか。

#### 対応内容：

当窓口から以下対応策を案内した。

#### 1. C型肝炎の医療費助成制度について

対象の患者は、在留資格があり国民健康保険に加入されているため、一般的に助成の対象となり、利用できる可能性が極めて高いと考えられる。ただし、助成額判定のため、世帯全員の課税状況を証明する書類（所得がない場合は非課税証明書など）の提出が求められる。最終的な受給の可否は自治体によって判断されるため、管轄する自治体窓口への相談をお勧めした。

#### 2. インドにおける治療費の実情について

一概にインドの方が安価であるとは言い切れない旨を伝えた。インドでは一部の治療薬（ジェネリック医薬品）が安価に普及しているため薬代自体は日本より低いと言われることがあるが、地域や病院によって医療レベルや料金設定に大きな幅がある。日本と同等の品質・環境で医療を受ける場合、日本国内での治療（助成制度利用後）よりも高額になるケースも十分に考えられる。

以上

#### 【本件に関する照会先】

大阪府ワンストップ相談窓口運営事務局

受託事業者：メディフォン株式会社（担当：小川、海野、吉川）

E-mail：onestop.soudan.osaka@mediphone.jp

TEL：050-3187-8648（こちらの番号は平日9:00-17:00のみ対応）